

令和7年度事業報告

1 まえがき

この報告書は、令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の事業実績であります。

2 概 況

当公社の公益事業の根幹を成す都市公園の指定管理は、令和7年度が5年間の最終年度であり、5年間の集大成にふさわしい、質の高い管理運営を実現するべく努めた。

各種事業を計画通り進め、特に公園を活用した自然啓発事業の積極拡大や、草花、花木を活用した公園のグレードアップ事業を積極推進し、その一つとして、昨年度伊勢崎市の個人庭園から大量に寄贈され、青木町公園等に植栽した貴重なヘメロカリスは、今年度一斉に開花して公園を艶やかに彩り、メディアにも紹介された。

なお、このヘメロカリスは開花中に盗難に遭い、悪質な事件としてテレビで複数回報道されて、思わぬ形で市民の一層の注目を集めることになってしまった。

また、各種事業を計画通り進める一方で、次年度からの新たな指定管理の指定は必須であることから、次の5年間の指定管理プランを慎重かつ綿密に策定し、令和7年8月4日付で川口市に指定申請を行った。

申請後、8月18日に川口市役所鳩ヶ谷庁舎においてプレゼンテーションを行い、関係部局による各種審査を経て、12月の川口市議会で承認され、当公社が指定管理者に指定された。

なお、申請にあたり提出した収支計画は、近年の物価高騰を考慮した計画が認められたことから、憂慮していた資金難のリスクをひとまず回避できたものの、現在資金不足で先送りになっている作業もあり、新たな指定管理においても引き続き経費削減の努力は必須と考えている。

一方、公益事業のもう一つの根幹であるゴルフ場の運営については、幸いにして台風等による冠水被害を受けることなく推移し、良質な芝生を利用者に提供できた。

各種ゴルフ教室やキャンペーンも計画通り実施し、特にゴルフの技術レベルに応じて数多く開催している教室は人気が高く、当ゴルフ場の利用増に繋がった。

コロナ禍が収束し、令和6年度から装いも新たに再開した18ホールプレーのゴルフ大会は、楽しさを全面に打ち出した企画が大変好評であり、今年度も盛況裡に終えることができた。

また、年間20回近く開催しているハーフオープンコンペも変わらず人気が高く、毎回多数の参加者で賑わった。

多くの事業が計画通り進んでいる中で、懸案事項としては、平日の利用者の減少傾向があり、これは平日利用の中心であった高齢者の利用が減ったためと考えられ、高齢者向けの教室やコンペ等を一層推進して効果を挙げた。

また、物価高騰も看過できない状況であり、適正な利用料金をきめ細かく研究し、適正化を図った。

3 庶務報告

(1) 会 議

会議名称	主 な 議 題
令和7年度第1回理事会 書面決議 (令和7年4月17日)	議案第1号 評議員会の決議の目的である事項及び評議員会の決議の省略 議案第2号 評議員候補者の推薦
令和7年度臨時評議員会 書面決議 (令和7年5月7日)	議案第1号 評議員候補者の推薦 議案第2号 監事の選任
令和7年度 第1回評議員選定委員会 (令和7年6月24日)	議案第1号 議長の選出 議案第2号 評議員の選任
令和7年度第2回理事会 (令和7年5月27日)	議案第3号 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認 議案第4号 令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 議案第5号 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定 議案第6号 評議員選定委員会の委員の承認 議案第7号 「川口市荒川運動公園事業継続積立資産」の積立計画の変更について 報告事項 ・理事会の決議報告 ・評議員会の決議報告 ・「ゴールデンウィーク健康増進キャンペーン」の実施結果について ・「川口西公園で遊ぼう！」開催報告 ・令和7年度事業の開催日程等について ・メディアを通じた情報の発信
令和7年度定時評議員会 (令和7年6月26日)	議案第1号 議長の選出 議案第2号 令和6年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認 議案第3号 理事の選任 報告事項 ・令和6年度事業報告
令和7年度第3回理事会 (令和7年8月20日)	議案第8号 川口市都市公園の指定管理者申請について 議案第9号 「ゆりコースお楽しみ抽選会」の追加実施について 報告事項 ・評議員選定委員会の決議報告 ・定時評議員会の決議報告 ・令和7年度ゴルフ場等の利用状況 ・メディアを通じた情報の発信
令和7年度第4回理事会 (令和8年2月5日)	議案第10号 令和8年度シルバーハーフオープンコンペ開催について 検討課題 令和8年度の取り組みについて 報告事項 ・令和7年度職務の執行状況

	・令和7年度決算見込み ・指定管理者の指定について ・「公園の樹木にふれあう会」開催について ・メディアを通じた情報の発信
令和7年度第5回理事会 書面決議 (令和8年3月5日)	議案第11号 評議員会の決議の目的である事項及び評議員会の決議の省略 議案第12号 公益財団法人川口市公園緑地公社給与規程の一部を改正する規程 議案第13号 公益財団法人川口市公園緑地公社嘱託職員等給与規程の一部を改正する規程 議案第14号 公益財団法人川口市公園緑地公社職員退職手当支給規程の一部を改正する規程
令和7年度臨時評議員会 書面決議 (令和8年3月17日)	議案第1号 理事の選任
令和7年度第6回理事会 (令和8年3月30日)	議案第15号 公益財団法人川口市公園緑地公社ゴルフ場管理規程の一部を改正する規程 議案第16号 公益財団法人川口市公園緑地公社体育施設利用規程の一部を改正する規程 議案第17号 「令和7年度公園事業運営対策積立資産」への積み立てについて 議案第18号 「川口市荒川運動公園事業継続積立資産」への積み立てについて 議案第19号 公益事業特定資産の一部取り崩しについて 議案第20号 令和7年度補正予算 議案第21号 令和8年度ゴルフ場運営について 議案第22号 令和8年度事業計画 議案第23号 令和8年度収支予算 議案第24号 令和8年度における川口市荒川運動公園の災害対策について 議案第25号 評議員選定委員会の委員の承認 報告事項 ・理事会の決議報告 ・評議員会の決議報告 ・令和7年度職務の執行状況 ・令和7年度決算見込み ・令和8年度ゴルフ場運営（コンペ日程等）について ・令和8年度指名業者選考委員会の委員の指定について ・メディアを通じた情報の発信

(2) 監査

令和6年度の監査

(令和7年5月12日)

4 事業報告

公益目的事業(1) 都市緑化及び公園緑地に関する普及啓発、利用の促進、自然環境の保全と創出、施設の管理運営及び防災機能の強化

①普及啓発、利用の促進

公園が有する「身近な自然地」としての機能に着目し、地域の自然環境保全による潤いのある都市生活実現と、未来を担う子供たちへの自然環境理解のため、公園の自然についての普及啓発に努め、利用の促進を図った。

項 目	概 要
公園の自然と遊びの教室	子供達が身近な自然の生き物とふれあうことで、地域の自然環境への理解を深め、豊かな心を育むことを目的として、都市化が進む川口市に残された小さな自然地「公園」をフィールドとして、生き物探検教室を実施した。 また、本事業の一環として、川口市主催の夜間に実施した同趣旨の観察会において、指導や解説の一部を当公社が行った。 ○川口西公園の教室 対 象：幸町小学校3年生 128人 開催日時：4月24日(木)、4月28日(月) 午前9時30分～午前11時30分 ○戸塚中台公園の教室 対 象：戸塚小学校1年生 116人／くすのき学級 4人 開催日時：10月21日(火) 午前9時～午前10時30分

	○北原台公園の教室 対 象：差間小学校１年生 ８３人 開催日時：１１月２７日（木） 午前９時４０分～午前１１時３０分   ○川口市立グリーンセンターの教室(川口市主催「夜のいきもの観察会」) 対 象：市内小学生および保護者 １２０人×２回 開催日時：７月２５日（金） 午後７時～午後９時 ７月２９日（火） 午後７時～午後９時   ○見沼自然の家の教室（川口市主催「夜のいきもの観察会」) 対 象：市内小学生及び保護者 ８０人 開催日時：８月５日（火） 午後７時～午後９時  
雑木林の自然と遊びの教室	雑木林を代表する昆虫であるカブトムシを、できるだけ自然に近い状態で繁殖させる施設と、施設に入れるカブトムシを提供し、飼育を実践する中で、雑木林の仕組みや面白さを体験する教室を開催した。 ○川口市立横曽根公民館の教室 ５月１７日（土） 午前１０時～正午 カブトムシについての講習、幼虫の観察 ６月１４日（土） 午前１０時～正午 サナギの観察

	7月19日（土） 午前10時～正午 カブトムシの成虫での遊びと卵、幼虫の観察 8月30日（土） 午前10時～正午 カブトムシの幼虫観察と身近な自然の生き物観察 12月6日（土） 午前10時～正午 幼虫の餌となる落ち葉集め 生物の冬眠に関する講義と観察 ○川口市立グリーンセンターの教室 5月17日（土） 午後1時30分～午後3時30分 カブトムシについての講習、幼虫の観察 6月14日（土） 午後1時30分～午後3時30分 サナギの観察 7月19日（土） 午後1時30分～午後3時30分 カブトムシの成虫での遊びと卵、幼虫の観察 8月30日（土） 午後1時30分～午後3時30分 カブトムシの幼虫観察と身近な自然の生き物観察 12月6日（土） 午後1時30分～午後3時30分 幼虫の餌となる落ち葉集め 生物の冬眠に関する講義と観察   横曽根公民館5月の教室 グリーンセンター7月の教室 ○カブトムシの養殖と養殖施設のメンテナンス 各教室で教材とするカブトムシを養殖するため、当公社内に養殖小屋を設置し、公園の落ち葉等を餌としてカブトムシを養殖した。
小学生「身近な生き物」 絵画コンクール	市内小学校1年生から3年生を対象に、身近な生き物の絵を描くことによって、身の回りにある自然を見つけ、自然とふれあい、自然の面白さに気付いてもらうことを目的とした、第20回市内小学生「身近な生き物」絵画コンクールを開催した。 募集方法：市内小学校を通じて募集 応募受付：9月4日（木）～9月18日（木） 応募総数：2,639点 各 賞：各学年 入選100点 うち市長賞1点、市議会議長賞1点、金賞2点、銀賞3点、銅賞5点

	〔作品展示会〕 展示作品：入選作品３００点（各学年１００点） 会 場：川口市アートギャラリー「アトリア」展示室Ａ・Ｂ 展示期間：１２月１０日（水）～１２月１４日（日） 来場者数：２，５２３人 〔表彰式〕 会 場：川口市アートギャラリー「アトリア」展示室Ａ・Ｂ 日 時：１２月１４日（日）午後３時～午後４時 表彰対象：入賞者３６人 ※入選者への賞状等の授与については、展示会場にて来場者に随時実施した。										
緑化啓発冊子の製作・配布	① 川口自然公園で見られるトンボを紹介した看板を設置し、看板と内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。 ② 新郷東部公園で見られる野鳥を紹介した看板を２基、蝶を紹介した看板を２基設置し、看板と内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。 ③ 川口西公園で春に咲く花木を紹介した看板を公園内に２基設置し、看板と内容のパンフレットを看板下に備え置くことで、公園利用者が常時自由にパンフレットを持ち帰りできるようにした。										
案内看板の充実及び樹木名プレートの設置等による利用の促進	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">動植物案内看板一覧</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川口西公園</td><td>春の花木案内２基</td></tr> <tr> <td>戸塚中台公園</td><td>雑木林の案内１基 野鳥案内１基</td></tr> <tr> <td>川口自然公園</td><td>野鳥案内１基 バッタ類の案内１基 トンボ類の案内１基</td></tr> <tr> <td>新郷東部公園</td><td>野鳥案内２基 バッタ類の案内２基 蝶類の案内２基</td></tr> </tbody> </table> ① 公園利用者に親しみやすく、理解しやすいよう、イラストを多用したオリジナルの案内看板を製作設置し、ルール明確化により安心し	動植物案内看板一覧		川口西公園	春の花木案内２基	戸塚中台公園	雑木林の案内１基 野鳥案内１基	川口自然公園	野鳥案内１基 バッタ類の案内１基 トンボ類の案内１基	新郷東部公園	野鳥案内２基 バッタ類の案内２基 蝶類の案内２基
動植物案内看板一覧											
川口西公園	春の花木案内２基										
戸塚中台公園	雑木林の案内１基 野鳥案内１基										
川口自然公園	野鳥案内１基 バッタ類の案内１基 トンボ類の案内１基										
新郷東部公園	野鳥案内２基 バッタ類の案内２基 蝶類の案内２基										

	て利用できる環境を整えるほか、川口西公園の彫刻案内や、自然が残る公園での動植物の案内等、公園の魅力も紹介し、公園緑地の利用促進を図った。 ② 樹木の名前を憶え、親しむことで公園利用の楽しさを拡大するべく、公園の間伐材（川口西公園のサクラ、青木町公園のケヤキ、イチョウ等）を使用したオリジナルの樹木名プレートを設置しているが、今年度は下記のとおり設置を行った。 設置公園：戸塚中台公園（既設プレート更新及び追加設置） 設置枚数：40種135枚 設 置 日：3月2日（月）～3月28日（土） 既設公園：川口西公園、川口西口緑地、青木町公園、中青木公園 新郷東部公園、並木元町公園、戸塚中台公園、前田東公園 川口自然公園、北原台公園 ③ 自然啓発を目的として製作したバッタやキリギリスの種類を紹介するレジャーシートやプレート、市内で見られる蝶の羽をデザインした垂れ幕を、川口西公園で開催したイベント「川口西公園で遊ぼう！」等で活用し、自然に触れ合える公園の利用促進を図った。
公園の樹木にふれあう会	公園にある「どんぐり」や「枯枝」等を活用した工作により、ものづくりの楽しさに加え、自然が生み出す形態の多様さや複雑さに触れ、樹木への興味と理解を深めることを目的とした工作教室を開催した。 場 所：新郷東部公園 日 時：2月15日（日）午前10時～午後3時 対 象：小学生以下の子供及びその保護者（当日随時受付） 参加人数：180人
情報の発信による利用の促進	ホームページ (http://www.k-ryokuchi.com/kouen/) の活用に加えて、市広報誌、地域のフリーペーパー等、各種メディアへの情報提供により、公園の紹介、生息する生物の紹介、イベント等の情報を発信した。

②公園運営事業

川口市の設置する都市公園の指定管理者の指定を受け、公園の管理運営を通して公益事業を推進し、緑と水辺の環境保全に努めながら、市民生活にゆとりと安心を提供するため、各公園の特性や役割に応じた管理運営を行った。

■管理施設： 青木町公園 中青木公園 川口自然公園
 川口西公園 川口西口緑地 ゴリラ公園
 戸塚中台公園 並木元町公園 並木元町北公園
 並木元町中公園 並木元町南公園 戸塚下台公園
 新郷東部公園 前田東公園 上新田公園
 朝日中央公園 北原台公園
 荒川運動公園〔公益目的（２）に基づく指定管理〕

〔管理公園総面積：737,112 ㎡〕

項 目	概 要
防災機能の向上	①帰宅困難者対策 埼玉県地域防災計画に基づき設置された川口駅周辺帰宅困難者対策協議会の構成員となり、災害時に駅から溢れた帰宅困難者が滞留する場になると想定される川口西公園での対応について協議等を行った。 〔第１回協議会〕 日 時：８月７日（木）午後２時～午後２時２５分 場 所：川口市役所第一本庁舎 ６０１会議室 〔第２回協議会〕 日 時：１月２７日（火）午後１時３０分～午後２時 場 所：川口市役所第一本庁舎 ６０１会議室 〔帰宅困難者支援施設運営ゲーム（ＫＵＧ訓練）〕 一時滞在施設の開設及び運営に係る手順の確認及び課題の抽出等を目的としたゲーム形式による訓練 日 時：１月２７日（火）午後２時～午後４時 場 所：川口市役所第一本庁舎 ６０１会議室 ②防火施設の保守と訓練 当公社で独自に公園へ整備した消火器等の防火施設の点検等を適切に行い、保守するとともに、公園の常駐作業員を対象として、水消火器による消火訓練を実施した。

	③AEDの設置 公園利用者が利用できる屋内施設がある公園にはAEDを設置し、点検等を毎日行って、緊急時に備えた。 設置公園：中青木公園、ゴリラ公園、新郷東部公園 ④かっぱの火消したい 川口西公園で開催したイベント「川口西公園で遊ぼう！」において、防災意識の向上と技術習得を目的として、訓練用消火器を使用した防災ゲームを行った。 場 所：川口西公園イベント広場 日 時：5月5日（月）午前11時～午後3時 参加人数：約250人 ⑤防災用品の備蓄（災害支援職員用） 職員は災害時に公園等で災害支援を行うことを想定しており、職員の非常食等を備蓄した。
植物の保全と育成	①樹木の保全と育成 公園に植栽されている樹木の健全な生育を助けるために、日照や健康状態に配慮した剪定や間伐を実施した。 加えて、青木町公園を春夏秋冬にゾーニングし、各季節に開花する花木を集中植栽して、四季のうつろいを感じることが出来る公園づくり等にも継続して取り組んだ。 また、昨年度に続き、カシノナガキクイムシの被害に起因するナラ枯れに対して、川口市と連携を取りながら早期発見、防除、伐採等の対応に努めたが、今年度は、年々拡大していた被害が縮小する傾向が見られた。 一方、サクラに大きなダメージを与えることで、近年埼玉県内で大きな問題となっているクビアカツヤカミキリの発生について、川口市内でも発生が認められるようになり、当公社も管理する公園での発生に注意し、監視した。 クビアカツヤカミキリ 画像提供：埼玉県環境科学国際センター

なお、今年度においては管理公園での発生は認められなかった。

②芝生・草地管理

芝生地・草地の管理は、ゴルフ場や野球場の管理によって培ってきた技術を活かし、直営作業による高頻度の草刈を実現することで、常時清々しい広場の維持を果たした。

なお、数年前に高麗芝からティフトン芝へ全面張替えを行った川口西公園の芝生広場は、ティフトン芝の生長が早いために、草刈りの頻度や施肥を高麗芝の倍にして活力のある健全な状態を維持した。



③草花管理

花壇植栽については、より少ない植栽頻度で最大の効果をあげるべく、種類の選択や植栽サイクルを開花期に合わせて細やかに設定するとともに、花の切り戻し作業等、長期間の開花を維持する管理を行った。

また、並木元町北公園における宿根草を使ったイングリッシュガーデン風の花壇の創出や、川口西公園における旧噴水施設を活用した現代的な花壇の整備、川口西口緑地花壇のグレードアップ、川口西公園のプランターの近代化等、草花による公園全体のイメージアップの試みを継続し、植物の生長に応じたきめ細やかなメンテナンスを行うことで、一層の存在感を放つようになった。



さらに、昨年度、伊勢崎市の個人庭園からヘメロカリス約1,000種類、約5,000株の譲渡を受け、指定管理公園に植栽したが、今年6月に順調に開花し、特に最も多く植栽した青木町公園では、植物園に匹敵するような多様な花を公園利用者に楽しんでもらうことができた。

	開花したヘメロカリス 一方で、計画的と思われる多量の株の盗掘が発生し、事件が話題となってテレビ等をにぎわす結果となってしまった。 これにより、予期せぬ形で、川口市のヘメロカリスが全国的に紹介されることとなった。 なお、盗掘の量は多かったが、幸いにして品種が失われる事態には至らず、今後も多様な花を楽しめる見込みである。 その他、川口西公園に設置した日本の四季を感じるための花壇は好評であり、これを継続し、季節ごとの日本の花の植栽や、稲の栽培、季節の風物の展示等を実施した。
安全で快適な空間づくりの推進	① 安全の確保 危機管理能力の低い子供達が利用する遊具や親水施設について、専門的な点検や、月1回の定期的な点検等、きめ細やかな点検を実施するとともに、年間ほぼ休みなく配置する常駐作業員によって、不具合の早期発見、早期対処を実現した。 また、近年しばしば話題となっている、健康そうに見える樹木の突然の倒伏について、原因の一つが菌類による幹や根の浸蝕であり、その診断の目安となるキノコの発生を見逃さぬよう、特に注意し、発生したキノコの種類に応じて速やかな伐採処理を実施して、倒伏による事故を未然に防いだ。 そのほか、高台にある公園では樹木への落雷の危険性を啓発するサインを設置するなど、きめ細かく安全性の向上に努めた。 その他、公園で発生する様々な危険に対処するべく、昼間・夜間の警備パトロールの実施と、24時間の緊急時対応を実施し、必要に応じて警察とも協力しながら利用者の危険回避に努めた。 ② 快適性の確保 常駐作業員による毎日の清掃で、恒常的に清潔な環境の確保に努め

ているが、より効果的な清掃の実現のため、清掃方法の見直しやマニュアル作りに取り組んだ。

また、常駐作業員による人力除草についても、用具の見直し等を随時実施し、より効率的な除草が行えるよう取り組んだ。

大面積の草地については状況に応じた柔軟な除草作業を高頻度で行い、草地広場利用者のニーズに可能な限り応えるようにした。

施設の破損や故障については、常駐作業員や利用者からの連絡（園内各所に公社の連絡先を掲示している）等により早期に発見し、速やかな修繕を行った。さらに、直営による修繕技術の向上に努め、廉価でより専門的な修繕を実現するとともに、スケートパークの路面修繕や新郷東部公園のゴムチップ舗装修繕等、特殊な修繕については独自に修繕方法を研究し、効果を上げた。



また、公園の一般利用のほか、団体利用については、事前の予約受付や抽選等を行い、公平な公園運営に努めた。

そのほか、市が許可する様々な公園の占用利用に対し、許可条件の遵守等、現場での細やかな指導を行うこと等により、占用利用者と一般利用者との調整を図った。

また、川口自然公園や新郷東部公園では、バードウォッチングや釣り等、様々な目的で自然との触れ合いを楽しむ利用者が訪れるため、目的に優劣をつけることのないよう留意し、誰もが気持ちよく自然を楽しめるよう、公平な管理に努めた。



同様に、喫煙や犬の散歩、地域猫の扱いやハトへの餌やり等、法的に明確に定められていないルールやマナーについては利用者間でトラブルになりやすく、細心の注意を払って公平であるよう努めた。

さらに、近年幼児の間で急速に広まった遊具「キックバイク」の遊び場として、ゴリラ公園のBMXコースに、キックバイク優先時間を暫定的に設けるなど、社会情勢に応じた柔軟な運営にも努めた。

③楽しみの創出

職員の手作りによるイベントを開催し、日常的な公園の楽しみに

	加えて、新たな楽しみを創出した。 なお、イベントでは楽しみながら防災や自然学習ができるゲーム等を行うことで、各種の公益事業の充実も図った。 名 称：川口西公園で遊ぼう！ 場 所：川口西公園イベント広場 日 時：５月５日（月） 午前１１時から午後３時  
川口自然公園等池の富栄養化防止の研究と対策	当公社では、川口自然公園の池で問題となっているアオコ（植物プランクトン）の発生に対し、ホテイアオイを育成して水中の栄養分を吸収させることでアオコの減少を図ってきたが、平成２４年度末に、川口市によって大規模な浚渫工事が実施され、長年の間に堆積したヘドロの除去が行われた。 これによって、池の栄養分は大きく減少したものと期待されたが、その後もアオコが発生しており、ホテイアオイの育成による水質浄化を継続して実施した。 

③自然環境の保全と創出事業

公園が有する自然のうち、特に豊かで質の高い自然地、貴重な動植物が生息する自然地については、これを保護するとともに、さらに豊かな自然地の創出に努めた。

項 目	概 要
自然林、斜面林の保全	戸塚中台公園、戸塚下台公園、北原台公園の斜面林は、未来へ残すべき貴重な地域の自然地であり、これらがその価値を損ねないように、立ち入り制限を行うとともに、除草や剪定作業にあたっても在来の植生に配慮した作業を行った。 また、植物だけではなく、斜面林に生息する生物の保全にも配慮し、指定管理公園のいくつかの公園では、カブトムシが自然発生する環境を維持した。 一方で、斜面林の樹木は自然の林として、通常の公園樹木のように定期的な剪定等のメンテナンスが行われていないことから、育ちすぎた樹

	木が折れたり倒れたりした場合に大きな事故につながるといった問題を孕んでおり、斜面林の適正管理の方向性を定めるべく、研究を行った。
湿地環境の保全	川口自然公園及び新郷東部公園の湿地環境は、未来へ残すべき貴重な地域の自然地であり、これらがその価値を損ねないように、別途生物調査によって蓄積されたデータ等を基に、希少動植物の保護のための立ち入り制限を実施したほか、水域確保のための浚渫や、侵略性の高い外来植物の駆除等を実施した。 また、一方では希少動植物に影響のない範囲で、利用者が自然との触れ合いを楽しめるような環境整備を積極的に進めた。
草地環境の保全	市内に自然豊かな草地環境が減少する中で、公園の広場の一部の草刈り頻度を落とし、多様な生物が生息できる草地環境の創出に取り組んだ。また、利用者にこの取り組みを紹介し、活用を促した。  意図的に刈り残した草地  草地で生物とふれあう子供たち
川口自然公園蝶類保護管理区の保全	豊かな自然創出を目的に、当公社が設置した蝶類保護管理区について、食草（幼虫が食する植物）の育成等、目的に即した管理を行った。
生物調査・植生調査	川口市の貴重な自然地である戸塚中台公園の斜面林において、主要な生物の生息状況を調査した。 調査日：10月15日（水） 調査項目：昆虫を中心とした生息状況 調査結果：雑木林のシンボルとも言えるカブトムシは、斜面林内の随所で幼虫を確認することができた。 そのほか、雑木林を象徴するクワガタやハナムグリ、以前から生息が確認されている稀少なアカスジキンカメムシも、継続して確認することができた。  アカスジキンカメムシ（幼虫）  ノコギリクワガタ

④市民協働事業

市民協働による公園運営や公園づくりにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、専門的な知識や技術を有する市民の協力により、的確で効果的な運営を行った。

項 目	概 要
緑化推進や啓発等に関わる市民協働への参加と協力	①緑の地球号 in 安行への協力 緑の保全と育成を目的とした下記の事業に協力した。 事業名：第37回みどりの地球号 in 安行 主催：みどりの地球号 in 安行実行委員会 開催日時：5月5日（月・祝） 会場：安行スポーツセンター ②川口理科オリンピックへの協力と参加 自然現象に関する基礎的・基本的な知識を深め、理科の学力向上を図るとともに理科好きの児童・生徒を育成することを目的として開催された「第18回川口理科オリンピック」に対し、入賞記念品として科学器具を提供した。 また、当公社が推進する身近な生き物とのふれあいをベースにしたオリジナルの問題を作成し、オリンピッククイズでの設問とした。 主催：川口市教育委員会 開催日時：7月29日（火） 中学生の部 午後1時～午後4時30分 7月30日（水） 小学生の部 午前9時～正午 場所：オンラインにより各学校にて開催 提供内容：小学生の部優勝校 顕微鏡キット×2人分（1チーム） 中学生の部優勝校 天体望遠鏡×3人分（1チーム） 設問10問（植物3問、昆虫3問、軟体動物1問、魚類1問、両生類1問、鳥類1問） 優勝：小学校の部 戸塚南小学校 中学校の部 十二月田中学校
自然環境の保全等を目指した市民協働の推進	①戸塚下台公園斜面林の保全 地域の貴重な自然林として残っている戸塚下台公園の斜面林を戸塚南小学校を中心とした市民との協働により保全した。 ②戸塚下台公園流れの保全 戸塚下台公園の流れを自然豊かな水辺環境とするべく、戸塚児童センターあすばるとの協働により保全した。 ③新郷東部公園ヒガンバナ植栽

	子供達の環境への関心や植物を愛する心を育むとともに、地域と子供達のつながりを促進することを目的として、平成30年度から新郷東小学校児童と協力して行っている本事業を継続して実施した。 協力児童：新郷東小学校4年生 68人 植栽日時：7月7日（月） 午前9時45分～午前10時30分 植栽場所：新郷東部公園B池周囲 植栽面積：30m×0.5m=15㎡ 植 栽 数：ヒガンバナ球根 1,000球  
公園運営に関わる市民協働	専門的な管理運営を要する、BMXコースやスケートパークを専門的知識を有する愛好者団体との協働により運営した。 ①ゴリラ公園BMXコースの協働 「非営利法人日本オフロードショートトラック連盟」の有志により、日常的にコース整備を実施した。 ②スケートパークの協働 スケート愛好者のマナー向上のために、「川口スケートパーク利用マナー向上委員会」の有志が、日常的に現場でのマナーの指導を行った。

公益目的事業（2） 国有地である河川緑地を市民の広域避難地として維持整備すること等による防災機能の向上、河川緑地に関する自然環境の保全と創出及び普及啓発並びに河川緑地を活用し、生涯スポーツ等を通しての市民の健全な心身の維持増進

①河川緑地（荒川運動公園）における防災機能の確保と向上事業

川口市地域防災計画に基づき、予測できない災害に対して、広域避難場所に指定される河川緑地の恒常的な機能確保と向上に努めた。

項 目	概 要
広域避難場所の機能確保と向上	①河川空間の維持整備 川口市地域防災計画に基づき、広域避難場所に指定される公園として、多様な防災機能を発揮するため、日常において市民の身体と生命の安全を確保できる場所にふさわしい河川空間の維持整備に努めた。

	②災害支援協力協定の継続 川口市と公社間の災害時における緊急避難場所の提供等に関する協定を引き続き締結した。 ③防災用品の備蓄（帰宅困難者用） 東日本大震災の教訓を活かし、災害時、河川緑地利用者が帰宅するために必要な、食料、飲料水、懐中電灯等200人分を備蓄した。 ④防災用品の備蓄（災害支援職員用） 職員は災害時に公園等で災害支援を行うことを想定しており、職員の非常食等を備蓄した。
広域避難場所の存在周知と防災訓練の実施	①防災クイズ 施設利用者の防災に対する意識向上と啓発を目的として、特典を付加した防災に関するクイズを、健康増進キャンペーンにおいて実施した。 また、ゴルフ大会の表彰式において、大会参加者を対象とした防災クイズのゲームを行った。  ②平時における備蓄防災用品の活用 保全期限の迫った備蓄防災用品を更新するにあたり、備蓄品の試用や備蓄状況の周知を目的として、更新した備蓄品を施設利用者等に試供した。 ③かっぱの火けしたい 河川緑地を始めとする市内災害時避難場所を広く周知するとともに、防災意識の向上と技術習得を目的として、河川緑地において訓練用消火器を使用した防災ゲームを行った。 場 所：川口市浮間ゴルフ場 日 時：11月16日（日） 午前10時～午後3時 ※荒川ふれあいまつりのイベントとして実施 対 象：荒川ふれあいまつり来場者 参加人数：約300人 ④防災訓練（地震想定） 地震発生に備えるため、出勤職員全員が埼玉県で実施されたシェイクアウト埼玉（県内一斉防災訓練）に参加するとともに、SNSによる職員の安否確認訓練を実施した。 場 所：川口市荒川運動公園管理棟

	日 時：9月1日（月） 午後3時45分～午後4時 ⑤防災訓練（火災及び地震想定） 火災の予防及び火災、地震が発生した際の人命の安全、被害の軽減を図ることを目的として、職員全員を対象に「上級救命講習」を主とした訓練を実施した。 場 所：川口市荒川運動公園管理棟2階 日 時：3月4日（水）、3月11日（水） 午後3時～午後3時45分 ⑥災害対策支援船「あらかわ号」乗船体験 大規模災害により道路や鉄道が機能しなくなった状況下で、河川を利用して災害対策支援を行う国土交通省所有の船舶「あらかわ号」に乗船し、河川をクルーズしながら荒川を中心とした防災を学ぶ事業を、荒川ふれあいまつりのイベントとして開催した。 乗船場所：川口市荒川防災船着場（ふれあいまつり会場から専用バスで送迎） 日 時：11月16日（日） 午前10時～午後3時 参加人数：138人（広報かわぐち10月号にて募集） 協 力：国土交通省荒川下流河川事務所   ⑦救命救急への対応 職員全員が定期的に普通救命講習を受講し、災害時には率先して救命にあたる体制を維持した。 ⑧川口市総合消防震災演習への協力 消防に対する理解と信頼を深めることを目的として開催された「川口市消防出初式」に対し、会場を提供したほか、ゴルフ場利用者への周知等により協力した。 場 所：川口市荒川運動公園 日 時：1月18日（日） 午前10時～午前11時50分
自然現象による洪水被害に対する河川緑地の復旧と対策	①関係機関との事前協定 予想される台風等の影響による河川敷の冠水被害に対し、速やかな復旧作業を可能とするべく、事前に造園土木業者との協定を締結した。

	②河川緑地の構築物撤去（訓練） 台風接近に伴う構築物撤去計画に基づき、撤去訓練を行った。 撤去訓練実施日：５月２１日（水） ③機材の確保と整備 予測できない洪水に備え、常時復旧作業に使用する機材等を確保するとともに、即時使用可能な状態に整備した。
--	---

②河川緑地（荒川運動公園）に関する自然環境の保全と創出及び普及啓発事業

河川緑地（荒川運動公園）は荒川に生息する生物の貴重な繁殖地や休息地、採餌場所等となっており、これらの機能を保全、創出するとともに、広く市民に紹介した。

項 目	概 要
荒川河川緑地の自然再生と保全	①池環境の保全 さざんかコース５番・６番ホール池周囲の土留め補修と、さざんかコース１番ホール池等のヘドロ除去を行った。 工事期間：１月８日（木）～３月２６日（木） ②ビオトープの保全 河川緑地に設定したビオトープを、生物の生息空間として維持管理した。 ③親水護岸等自然地の保全 親水護岸の自然地や修景池周囲の自然地を、生物の生息空間として維持管理した。 特に近年大きな問題となっている特定外来植物のナガエツルノゲイトウについては早期発見、早期駆除により拡散を防いだ。
生物調査・植生調査	地球環境に適した多様な生物の維持を目的として、夏～秋における荒川運動公園の昆虫の調査を実施した。 調 査 日：７月２１日（月）、１１月２８日（金）

	調査項目：昆虫調査 調査結果：市内では大変稀少なミズカマキリや、タイコウチが発見された。 発見場所の環境の保護とモニタリングに努めることとした。
「水辺の楽校」事業	①荒川の自然と遊びの教室 荒川河川緑地の生物とふれあい、荒川の自然についての理解や認識を深めてもらうことを目的として、ゴルフ場内の池や水路での魚捕りや堤防での昆虫採集等の遊びを含めた自然観察会を実施した。 〔池や水路の生物を対象とした教室〕 飯仲小学校 1、2 年生対象（158 人） 5 月 30 日（金） 雨天中止 飯塚小学校 2 年生対象（99 人） 6 月 13 日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り 原町小学校 1 年生対象（60 人） 6 月 13 日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り 舟戸小学校 2 年生対象（92 人） 11 月 28 日（金） ゴルフ場内水辺の生き物捕り   〔陸生の生物を対象とした教室〕 飯塚小学校 5 年生対象（127 人） 5 月 27 日（火） 河川敷の動植物を中心とした環境学習 飯塚小学校 3 年生対象（101 人） 5 月 28 日（水） 河川敷の動植物を中心とした環境学習 仲町小学校 1、2 年生対象（158 人） 10 月 15 日（水） 雨天中止 飯塚小学校 2 年生対象（99 人） 10 月 1 日（水） 河川敷の昆虫採集 飯塚小学校 1 年生対象（104 人） 10 月 23 日（木） 河川敷の昆虫採集 共生幼稚園対象

11月13日（木） 河川敷の昆虫採集

11月21日（金） 河川敷の昆虫採集



飯塚小学校の教室



共生幼稚園の教室

〔陸生の生物を対象とした教室（むしむしらんど）〕

荒川河川緑地に生息する昆虫のうち、バッタの多様さをメインに紹介し、河川緑地の価値や魅力を知ってもらうため、クイズ形式のゲームイベントを開催した。

場 所：川口市浮間ゴルフ場

日 時：11月16日（日） 午前10時～午後3時

※荒川ふれあいまつりのイベントとして実施

対 象：荒川ふれあいまつり来場者

参加人数：約200人

〔親水護岸での教室開催に向けた調査、研究〕

国土交通省による親水護岸整備の完了に伴い、親水護岸を活用した自然体験教室の開催に向けて、親水護岸に続く干潟の調査や教室運営についての研究を行った。

②荒川の自然にふれあう会

荒川河川緑地の生物とふれあい、荒川の自然についての理解や認識を深めてもらうことを目的として、川口市浮間ゴルフ場を開放し、市民を対象とした自然観察会を実施した。

開 催 日：7月21日（月）

時 間：午前8時30分～午後0時30分

参加者数：市内在住親子109組 361人



③親子で楽しむ土手のむし

昆虫を苦手とする大人が増え、さらに身近な自然地が減少する中で、希薄となってしまう昆虫と子供とのふれあいを推進するとともに、保

	護者の苦手意識の解消を図ることを目的として、荒川河川敷の昆虫と親しむ教室を実施した。 開催日：9月27日（土） 時間：午前8時45分～午前11時 場所：荒川運動公園ラグビー場周辺 参加者数：親子16組53人   ※「水辺の楽校」について 長年継続、拡大してきたこれらの実績が認められ、活動場所である荒川運動公園は、国土交通省が水辺での活動を安全かつ充実したものとするために必要な整備を行うプロジェクト「水辺の楽校」に、平成21年3月31日付で登録された。
荒川の自然環境の保全と創出等を目指した市民協働の推進	荒川の環境改善のために、ゴミ拾いや環境学習等を実施している市民ボランティア活動に対し、お互いに情報交換や人材派遣を行う等、協働を積極的に推進した。 親水護岸を活用した自然体験教室の研究についても市民団体と協力して行った。 夏休み川口水辺の楽校 2025 への協力 小学生高学年を対象とした荒川河川敷（水辺の楽校エリア）の水質調査、自然観察を行う下記の事業に協力予定であったが、雨天により中止となった。 主催：荒川夢クラブ 開催日：8月1日（金） 午前9時～午前11時30分 参加者：市内小学生4年生～6年生 協力内容：活動場所の整備、荒川運動公園管理棟の利用、自然観察指導
市民と連携した「荒川ふれあいまつり」の開催	荒川の緑と水、自然とふれあうことで市民に心の安らぎと潤いをもたらすとともに、広く広域避難場所としての周知を図ることを目的に、川口市浮間ゴルフ場を会場として、「川口市浮間ゴルフ場ふれあいまつり 2025」を開催した。 また、同時に開催された市民ふれあい祭り実行委員会主催による「荒川ふれあいまつり 2025」に対し、会場提供等、積極的に協力した。

	開催日時：11月16日（日） 午前10時～午後3時 来場者数：約32,000人  
荒川桜堤、荒川防災船着場花文字花壇等、指定管理による魅力創出	河川緑地における都市公園「荒川運動公園」の指定管理者となり、荒川桜堤、荒川防災船着場花文字花壇等に四季折々の花を開花させることにより、河川緑地の魅力を創出した。
情報の発信による利用の促進	ホームページ、広報誌、各種メディアを活用し、生息する生物の紹介、各種イベントなどの情報を発信した。 また、荒川の魅力紹介の一つとして製作したリーフレット「荒川散歩で見つかる植物」及び「親子で楽しむ土手のむし」を、荒川を訪れる方が自由に手に取って活用できるよう、屋外用チラシケースを使用して荒川桜堤等に配置した。

③河川緑地を活用し生涯スポーツ等を通しての市民の健全な心身の維持増進事業

都市の中でオープンスペースの確保が困難な中、河川緑地を活用し、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ、レクリエーション等の機会を市民に提供し、市民の健全な心身の維持増進に寄与した。

項 目	概 要
生涯スポーツ、レクリエーション施設の運営	健康増進を目的として、乗用カートを使用しないゴルフ場9ホールのさざんかコース及び3ホールのゆりコースを運営し、事業目的達成のため下記のとおりサービスを行った。 ①シルバー割引（満65歳以上） 満65歳以上のさざんかコース利用者を対象に割引サービスを実施した。 ②ジュニア割引（満18歳未満） 満18歳未満のさざんかコース利用者を対象に割引サービスを実施した。

	③ 1 ラウンドプレー昼食サービス さざんかコース 1 ラウンドプレー（18ホールプレー）する利用者に無料の昼食サービスを実施した。 ④ 1.5 ラウンド割引 さざんかコース 1.5 ラウンド以降の利用料金の割引を実施した。 ⑤ ゆりコース団体利用サービス ゆりコースをゴルフスクール等の団体が利用する場合、貸切で利用できるサービスを実施した。 ⑥ 早朝割引 早朝利用者のさざんかコース利用料金の割引を実施した。 〔早朝利用期間：4月1日（火）～11月29日（土） 令和8年3月9日（月）～3月31日（火）〕 ⑦ 薄暮割引 土曜日、日曜日及び祝日の夕刻利用者のさざんかコース利用料金の割引を実施した。 〔薄暮利用期間：4月5日（土）～10月13日（月・祝） 令和8年1月24日（土）～3月29日（日）〕 ⑧ 「市内中小企業勤労者等さざんかコース割引利用券」の発行 公益財団法人川口市勤労福祉サービスセンターが行う市内中小企業勤労者の福利厚生事業とタイアップして、市内の中小企業勤労者を対象とする割引券を発行した。 〔夏季割引：7月19日（土）～9月30日（火）〕 〔冬季割引：令和8年1月4日（日）～3月12日（木）〕 ⑨ 粗品サービス クリスマス等、各種季節イベント時の来場者に粗品をプレゼントするサービスを実施した。 ⑩ ポイントサービス さざんかコース及びゆりコースの利用1回につき1ポイントを付与し、それぞれ合計したポイント数により、施設使用料が割引となるサービスを実施した。 ⑪ レディースデーポイントサービス 特定の曜日にさざんかコースを利用した女性を対象に、利用1回につき2ポイント付与する
--	--



サービスを実施した。

⑫得得デー・ダブルポイントサービス

特定の金曜日を得得デーとし、さざんかコース利用者を対象に、利用１回につき２ポイント付与するサービスを実施した。

特定金曜日：７月２５日、８月２９日、９月５日、９月２６日
令和８年１月９日、１月２３日、２月６日、２月２０日

⑬ホールインワン記念サービス

ゴルフ場利用者がホールインワンを達成した場合、一緒にプレーした利用者を含めて記念品（オリジナルタオル）を進呈するサービスを実施した。

また、記念写真を撮影して進呈するとともに、エントランスホールにホールインワン達成者の掲示板を設置し、掲示した。

４月～３月 ホールインワン達成者：さざんかコース６番 ４人
 さざんかコース９番 ３人




⑭エイジシュート記念サービス

ゴルフ場利用者がエイジシュート（自分の年齢以下のスコアでプレーすること）を達成した場合、記念品（オリジナルゴルフボール）を進呈するサービスを実施した。

４月～３月 該当者なし。

⑮猛暑対策

夏の異常気象により、猛暑が続いた中で、利用者の熱中症等の対策として、熱中症対策飲料、冷却グッズ等の熱中症予防用品の販売を行った。

なお、発症者が出た場合の対策として、職員全員が普通救命講習を受講している。

また、救護用の車両、簡易ベッド、水、冷却剤等の救急資材を常備するとともに、管理棟にはＡＥＤを設置し、毎日の点検等を行い、緊急時に備えた。

⑯視覚障害者団体へのゆりコース及びさざんかコースの提供

歩くゴルフによる健康増進を障害者にも普及すべく、定期的（月１



	回日曜日)に施設を提供し、視覚障害者団体がプレーを行った。 ⑰学校教育への協力 健全な心身の育成を目的として、学校教育の一環で行うゴルフ等に優先的に施設を提供する等、積極的に協力した。 ⑱ふるさと納税返礼品としての活用 川口市のふるさと納税返礼品として、さざんかコース利用券を提供した。  ⑲情報提供 各種メディアやホームページ (https://www.k-ryokuchi.com/ukima/)を通して、タイムリーな施設の情報を提供した。
生涯スポーツ、レクリエーション施設の貸与	都市の中でオープンスペースの確保が困難な中、河川緑地を活用し、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ、レクリエーションの機会を市民に提供し、市民の健全な心身の維持増進に寄与するため、荒川運動公園野球場（１面）及びラグビー場（１面）施設を貸与した。
市民の健康増進スポーツ教室の開催	市民の健全な心身の維持増進に寄与するため、スポーツ教室を開催した。 ①ゴルフ再挑戦！サポート教室 しばらくゴルフから遠ざかっていた人や若干ゴルフの経験はあっても基本を習得していない人で、健康のためにゴルフに再挑戦、または継続していきたいと考える人をサポートすることを目的に、ゴルフの基本を習得する教室を開催した。 ■ ４月の教室 開催日：４月５日（土）、４月１２日（土）、４月１９日（土） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：１９人 ■ １１月の教室 開催日：１１月２９日（土）、１２月６日（土）、１２月１３日（土） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：２０人



② ゴルフパワーアップ！サポート教室

長くゴルフを続けているベテランゴルファーが、さらなるスコアアップや上達を目指して基本を学び直すなど、健康的で楽しいゴルフライフをサポートすることを目的とした教室を開催した。

開催日：6月15日（日）、6月22日（日）、6月29日（日）

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース

参加者：20人



③ ゴルフパワーアップ！サポート教室・初級コース

コロナ禍の影響により新たにゴルフを始めた方が増えたことから、健康のために長くゴルフを継続していきたいと考える初級ゴルファーをサポートすることを目的に、ゴルフの基本を習得する教室を開催した。

■ 7月の教室

開催日：7月12日（土）、7月19日（土）、7月26日（土）

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース

参加者：19人



■ 3月の教室

開催日：3月22日（日）、3月29日（日）、（※3回目予定日）

	令和8年4月5日（日） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース、さざんかコース 参加者：20人 ④ふれあいまつり・ラグビー教室 「荒川ふれあいまつり」において、来場者を対象にシンプルなゲーム形式によるラグビー教室を開催した。 開催日：11月16日（日） 会 場：川口市浮間ゴルフ場（ふれあいまつり会場） 参加者：川口市ラグビーフットボール協会所属JRFU公認指導者等																												
市民の健康増進スポーツ体験	施設を活用した子供から高齢者まで気軽に参加できるスポーツ体験事業を行った。 ①さざんかコースデビュー・ゴルフ再挑戦お助け隊 川口市浮間ゴルフ場さざんかコースにおいて、特定の予約日時を設け、職員が同行してプレー手順やルール、マナーのアドバイスを行うことで、初めてのさざんかコースプレーを補助し、健康増進としての「歩くゴルフ」を推進した。 <table><tr><td>開催日</td><td>参加人数</td><td>開催日</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>4月24日（月）</td><td>8人</td><td>10月21日（火）</td><td>12人</td></tr><tr><td>5月21日（水）</td><td>11人</td><td>12月24日（水）</td><td>雨天中止</td></tr><tr><td>6月18日（水）</td><td>6人</td><td>3月26日（木）</td><td>雨天中止</td></tr><tr><td>9月29日（月）</td><td>8人</td><td></td><td></td></tr></table> ②ゴルフパワーアップ初級コースお助け隊 コロナ禍の影響により新たにゴルフを始めた方の利用が増えたことから、初級ゴルファーに対象を絞った「お助け隊」を開催した。 <table><tr><td>開催日</td><td>参加人数</td><td>開催日</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>6月 8日（日）</td><td>12人</td><td>9月15日（月）</td><td>10人</td></tr></table> ③歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室 生涯楽しめる健康スポーツとしてのゴルフを通じ、市民の健全な心身の維持増進を図ることを目的として、60歳以上のシニアを対象にアイアン2本とパター1本のみの使用を基本とした、ゴルフ体験教室を開催した。	開催日	参加人数	開催日	参加人数	4月24日（月）	8人	10月21日（火）	12人	5月21日（水）	11人	12月24日（水）	雨天中止	6月18日（水）	6人	3月26日（木）	雨天中止	9月29日（月）	8人			開催日	参加人数	開催日	参加人数	6月 8日（日）	12人	9月15日（月）	10人
開催日	参加人数	開催日	参加人数																										
4月24日（月）	8人	10月21日（火）	12人																										
5月21日（水）	11人	12月24日（水）	雨天中止																										
6月18日（水）	6人	3月26日（木）	雨天中止																										
9月29日（月）	8人																												
開催日	参加人数	開催日	参加人数																										
6月 8日（日）	12人	9月15日（月）	10人																										

	■春の教室 開催日：5月20日（火）、27日（火）、6月17日（火） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース 参加者：20人 ■秋の教室 開催日：11月4日（火）、11日（火）、18日（火） 会 場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース 参加者：20人   ④コースデビュー体験ラウンド ゆりコース登録団体のうち、過去1年以内に団体貸切利用の実績がある団体に、さざんかコース営業日の最終スタート枠を提供し、コースデビューを応援した。
市民の健康増進キャンペーン	河川緑地を活用して健康増進を図ることを目的とした、各種キャンペーンを実施した。 ①春休み親子でゴルフキャンペーン 健康スポーツとしてのゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が春休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。 実施期間：令和7年3月17日（月）～4月6日（日） 令和8年3月16日（月）～4月5日（日） ②ゴールデンウィーク健康増進キャンペーン ゴールデンウィークを健康増進推進強化期間とし、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。 また、新たにゆりコース利用者を対象とした抽選会を実施し、大変好評であった。 このキャンペーン情報を幅広く発信するため、チラシの配布やダイレクトメールの発送等を行った。 

実施期間：4月26日（土）～5月6日（火）

③健康増進“ゴルフで歩こう！”キャンペーン

健康増進を目的に、乗用カートを使用せず、歩いてゴルフを楽しむことを推奨するため、また、同時に防災に関する意識の向上を図るため、ゴルフ場利用者に防災に関するクイズを出題し、正解者の中から抽選で賞品が当たるキャンペーンを実施した。



実施期間：6月1日（日）～6月30日（月）

10月1日（水）～10月30日（木）

11月1日（土）～11月30日（日）

④夏休み親子でゴルフキャンペーン

健康スポーツとしてのゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が夏休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。

実施期間：7月19日（土）～8月31日（日）

⑤健康増進サマーキャンペーン

健康増進を目的に、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。また、このキャンペーン情報を発信するため、チラシ配布やダイレクトメールの発送等を行った。

実施期間：7月19日（土）～9月30日（火）

⑥川口市浮間ゴルフ場夏祭り

健康増進を目的として、下記の期間、粗品が当たる抽選会を開催し、一層の利用の促進を図った。

また、ゴールデンウィークに実施して好評であったゆりコースのお楽しみ抽選会も同時に実施した。



この祭りの情報を幅広く発信するため、リーフレットの配布等を行った。

実施期間：8月9日（土）～8月17日（日）

⑦「老人週間」健康増進キャンペーン

高齢者の健康増進を目的として、キャンペーンの期間中のポイント付与を通常の倍とし、高齢者の利用の促進を図った。

	実施期間：9月15日（月）～9月21日（日） 対 象 者：65歳以上のさざんかコース利用者 但し、9月19日（金）及び早朝ゴルフを除く ⑧クリスマスゆりコースお楽しみ抽選会 ゴールデンウィークや夏季に実施して、大変好評であった、ゆりコースお楽しみ抽選会を、クリスマスや春の到来に合わせて実施した。 実施期間：12月20日（土） ～12月28日（日）  ⑨冬休み親子でゴルフキャンペーン 健康スポーツとしてのゴルフや親子のふれあいを通じ、心身の健全な育成を目的として、児童・生徒が冬休みの期間、保護者同伴の中学生以下のさざんかコースプレー料金を大幅に割引くキャンペーンを実施した。 実施期間：12月15日（月）～1月31日（土） ⑩健康増進ウィンターキャンペーン 健康増進を目的に、ゴルフ場利用料金の特別割引や、ドリンクサービス等を行い、一層の利用の促進を図った。また、このキャンペーン情報を発信するため、チラシ配布やダイレクトメールの発送等を行った。 実施期間：1月2日（金）～3月1日（日） ⑪春が来た！ゆりコースお楽しみ抽選会 ゴルフに快適なシーズン到来に合わせて、抽選会を実施した。 実施期間：3月14日（土）～3月22日（日）																								
市民の健康増進スポーツ大会の開催	健康増進を目的として、施設を活用したスポーツ大会を開催した。 <table><tr><th>大 会 名</th><th>開 催 日</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>やっぱりウキマの大会は面白い♪ 川口市浮間ゴルフ場ゴルフ大会 2025</td><td>11月30日（日）</td><td>76人</td></tr><tr><td>春のシルバーハーフオープンコンペ</td><td>4月11日（金）</td><td>130人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ①</td><td>5月18日（日）</td><td>113人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ①</td><td>5月23日（金）</td><td>105人</td></tr><tr><td>日曜ハーフオープンコンペ②</td><td>6月 1日（日）</td><td>101人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ②</td><td>6月 6日（金）</td><td>106人</td></tr><tr><td>平日ハーフオープンコンペ③</td><td>6月20日（金）</td><td>93人</td></tr></table>	大 会 名	開 催 日	参加人数	やっぱりウキマの大会は面白い♪ 川口市浮間ゴルフ場ゴルフ大会 2025	11月30日（日）	76人	春のシルバーハーフオープンコンペ	4月11日（金）	130人	日曜ハーフオープンコンペ①	5月18日（日）	113人	平日ハーフオープンコンペ①	5月23日（金）	105人	日曜ハーフオープンコンペ②	6月 1日（日）	101人	平日ハーフオープンコンペ②	6月 6日（金）	106人	平日ハーフオープンコンペ③	6月20日（金）	93人
大 会 名	開 催 日	参加人数																							
やっぱりウキマの大会は面白い♪ 川口市浮間ゴルフ場ゴルフ大会 2025	11月30日（日）	76人																							
春のシルバーハーフオープンコンペ	4月11日（金）	130人																							
日曜ハーフオープンコンペ①	5月18日（日）	113人																							
平日ハーフオープンコンペ①	5月23日（金）	105人																							
日曜ハーフオープンコンペ②	6月 1日（日）	101人																							
平日ハーフオープンコンペ②	6月 6日（金）	106人																							
平日ハーフオープンコンペ③	6月20日（金）	93人																							

平日ハーフオープンコンペ④	7月11日(金)	86人
日曜ハーフオープンコンペ③	10月5日(日)	119人
秋のシルバーハーフオープンコンペ	10月10日(金)	177人
日曜ハーフオープンコンペ④	11月2日(日)	116人
平日ハーフオープンコンペ⑤	11月7日(金)	100人
平日ハーフオープンコンペ⑥	11月21日(金)	98人
平日ハーフオープンコンペ⑦	12月12日(金)	77人
日曜ハーフオープンコンペ⑤	12月21日(日)	90人
ファイナルハーフオープンコンペ	12月26日(金)	123人
日曜ハーフオープンコンペ⑥	1月11日(日)	105人
日曜ハーフオープンコンペ⑦	2月8日(日)	積雪中止
平日ハーフオープンコンペ⑧	3月6日(金)	108人
日曜ハーフオープンコンペ⑧	3月15日(日)	127人

①歩いて健康づくり・シニアミニコンペ

「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」の参加者を対象とし、教室同様アイアン2本とパター1本のみの使用を基本とした、健康増進のためのミニコンペを開催した。

■6月ミニコンペ

開催日：6月24日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」参加者

参加人数：20人

■10月ミニコンペ

開催日：10月7日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」参加者

参加人数：20人

■12月ミニコンペ

開催日：12月2日(火)

会場：川口市浮間ゴルフ場ゆりコース

対象：「歩いて健康づくり・シニアゴルフ教室」または「歩いて健康づくり・シニアミニコンペ」参加者

参加人数：23人

	■ 3月ミニコンペ 開催日：3月3日（火）雨天延期、3月10日（火）積雪延期 3月24日（火）開催 ②元気いっぱい！ジュニアゴルフ大会2025 健康スポーツであると同時に、ルール・マナー重視のスポーツであるゴルフを通して、子供達の健全な心身を育むことを目的としたジュニアゴルフ大会を開催した。 開催日：12月7日（日） 会場：川口市浮間ゴルフ場さざんかコース 対象：小学校3年生～6年生 参加人数：6人  
市民交流事業の推進	川口市体育行政の一環として、市民スポーツの普及発展等を目的として開催されるスポーツ大会等に対し、荒川運動公園野球場及びラグビー場の優先利用を認めるなど、地域交流事業を推進・応援した。 優先利用（野球場） 少年野球強化大会 主催：川口市少年軟式野球スポーツ少年団 優先日：2月と8月を除く毎月第2土曜日 優先利用（ラグビー場） 川口市ラグビーフットボール協会主催によるラグビースクール、競技大会等 主催：川口市ラグビーフットボール協会 優先日：年間随時 特別営業（川口市浮間ゴルフ場さざんかコース） キューポラ川口ゴルフ大会 主催：川口市老人クラブ連合会 開催日：10月24日（金） 参加人数34人 3月13日（金） 参加人数56人

■川口市浮間ゴルフ場（さざんかコース／ゆりコース）・荒川運動公園野球場・荒川運動公園ラグビー場の利用状況

◎さざんかコース利用者数（9ホール・PAR35）

区 分	営業日数	一 般	満65歳以上	満18歳未満	合 計	1日平均
平 日	211日	4,380人	11,827人	62人	16,269人	77人
土日祝	118日	8,311人	2,940人	83人	11,334人	96人
合 計	329日	12,691人	14,767人	145人	27,603人	83人

区 分	営業日数	一 般	満65歳以上	満18歳未満	合 計	1日平均
土日祝薄暮	82日	1,027人	289人	12人	1,328人	16人

区 分	営業日数	利用者数	1日平均
早朝 平日	140日	3,561人	25人
早朝 土日祝	83日	3,915人	47人
合 計	223日	7,476人	33人

※上記の他追加利用人数：平日 2,953人 土日祝日 3,911人 早朝平日 13人 早朝土日祝 27人

※上記の他ポイントサービス利用人数：平日 1,506人 土日祝日 400人

※上記のうち親子でゴルフキャンペーン利用人数：平日 20人 土日祝日 35人

※上記の他土日祝日視覚障害者団体利用人数：11人

※上記の他「健康増進“ゴルフで歩こう！”キャンペーン」招待プレー利用人数：84人

◎ゆりコース利用者数（3ホールショートコース）

区 分	営業日数	利用者数	1日平均
平 日	181日	5,052人	27人
土日祝	112日	6,404人	57人
合 計	293日	11,456人	39人

※その他団体利用：38件（うち、視覚障害者団体利用8件）

※上記の他ポイントサービス利用人数：1,317人

※上記の他無料券利用人数：66人

◎川口市荒川運動公園野球場・ラグビー場利用件数

※1単位：2時間の利用

区 分	一般野球	少年野球	一般ラグビー	少年ラグビー	合 計
平 日	7単位	0単位	56単位	0単位	63単位
土日祝	135単位	47単位	113単位	200単位	495単位
合 計	142単位	47単位	169単位	200単位	558単位

収益事業 施設利用者の便宜を図る物品販売等の利用サービス促進事業

項 目	概 要
利用サービス促進事業	①物品の販売 川口市浮間ゴルフ場のマスコットをあしらったボールやボールペンを製作、販売する等、購買意欲をそそる商品の開発や、猛暑に合わせたアイスクャンデー、冷却グッズの販売等、細かなニーズに合わせた商品の仕入れによって、販売促進を図っている。 なお、「オリジナルゴルフボール販売促進キャンペーン」を下記のとおり実施した。 くじ引きキャンペーン：4月26日（土）～5月6日（火） 7月19日（土）～9月30日（火） 1月2日（金）～3月1日（日） （くじ引きを行い、さらにボールが当たるキャンペーン） ②飲料・菓子類の販売 ゴルフ場利用者を対象に、飲料、菓子類の販売を行った。 商品がマンネリ化しないよう、常に新しい商品の発見に努め、商品を回転させるとともに、より安い仕入れ方法の研究にも努め、収入の増大を図った。 また、ゴルフ場利用者のみならず、荒川河川敷を訪れる様々な利用者にも購入いただけるよう、PRを行った。 そのほか、川口西公園、並木元町公園、並木元町南公園、戸塚下台公園に飲料の自動販売機を設置し、公園利用者の利便性の向上と収益の拡大を図った。

＜事業報告の附属明細書について＞

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。